

課題改善シート

教科名	小学校 算数	平成26年度問題	A	6
学習指導要領の領域・内容	4年 C 図形			
調査問題				
著作権の都合により掲載できません。				
国立教育政策研究所 平成26年度 全国学力・学習状況調査の調査問題 小算A-6 https://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14mondai_shou_sansuu_a.pdf 参照				
解答類型		全国平均	県平均	自校等
	1 向かい合っている辺が平行であると解答している。	24.2%	26.0%	%
◎	2 向かい合っている辺の長さが等しいと解答している。	52.0%	47.7%	%
	3 向かい合っている角の大きさが等しいと解答している。	12.5%	14.0%	%
	4 2本の対角線がそれぞれの真ん中で交わると解答している。	10.7%	11.3%	%
	上記以外の解答	0.1%	0.1%	%
	無解答	0.6%	0.8%	%
課題改善の主なポイント				
<p>作図が図形の約束や性質に基づいていることを理解させる指導が必要である。</p> <p>「向かい合っている辺が平行である」と誤答した児童の割合が26%に上る。これらの児童は、コンパスを使った作図の意味を解釈せずに、平行四辺形の約束をそのまま解答していると考えられる。</p> <p>指導に当たっては、三角定規だけではなく、コンパスや分度器などを用いても平行四辺形を作図できる理由について話し合うなど、作図ができて終わりにするのではなく、図形の約束や性質を基に振り返る活動を盛り込む必要がある。</p>				
備考				
<p>○ 下記の資料にも、平行四辺形の性質に関する内容が示されている。</p> <p>平成19年度【小学校】報告書P. 147～P. 149</p> <p>平成21年度【小学校】報告書P. 231～P. 235</p> <p>平成22年度【小学校】報告書P. 168～P. 169</p> <p>平成23年度【小学校】解説資料P. 58～P. 62</p>				